

洛和会音羽記念病院

地域連携 NEWS

Vol.

8

〒607-8116 京都市山科区小山镇守町29-1 TEL 075(594)8010(代) FAX 075(593)8035 <http://www.rakuwa.or.jp/kinen/>

透析患者さんの 創傷ケアの取り組み

京都下肢創傷センター

糖尿病や動脈硬化症などが原因で、足の血流が悪くなり、徐々に足が腐ってしまう壊疽^{えそ}の患者さんが増えています。これに立ち向かうため、多くの専門家が協力し、当院の総力を結集するシステムとして、当センターが設立されました。完全予約・紹介制の外来ですので、何カ月も治らない傷を抱えて悩んでおられる方は、かかりつけ医を通じてご相談ください。じっくりと患者さんに向き合い、良質の医療が提供できるように努めます。



京都下肢創傷センター センター長 兼
洛和会音羽記念病院 皮膚科 部長

まつ ばら くに ひこ
松原 邦彦

【専門医認定・資格など】

- 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
- 臨床研修指導医

下肢創傷や褥瘡^{じよく そう}で
お困りの患者さんがいらっしゃる

透析
施設

介護
施設

適切な
フォロー体制

ご紹介

京都下肢創傷センター

洛和会音羽記念病院

透析

ABI・SPP・
下肢エコー検査・
創傷の評価・
血流の評価など

連携

洛和会音羽病院

治療

血行再建・手術など

日帰りで透析治療と診察が可能な

ゲスト創傷ケアの ご案内



透析治療中に下肢創傷の診察・処置が可能です。創傷で悩まれている透析患者さんがおられましたら、ぜひご紹介ください。



4趾が基部から黒色化している



爪が食い込んで傷になっている

早期の処置が
重篤化を
防ぎます！

診察・処置の流れ

貴施設

当院へ
ご連絡
(TEL・Email)

当院

ゲスト透析
枠の確保

当院に
到着

送迎サービス
有り

検査

SPP・ABI
下肢動脈エコー・
エックス線など

透析開始～終了

透析施行中医師による
診察・処置
必要に応じて治療のご提案

帰宅

ご自宅まで
お送りします
送迎サービス
有り



送迎サービス

ご自宅（介護施設）と当院間をつなぐ送迎サービスを実施しています。ご利用についてはお問い合わせください。



フットケアチームの取り組み



当院では、医師や看護師、臨床工学技士、義肢装具士など多職種10数名が連携し、チームで患者さんのフットケアに取り組んでいます。



患者さんの足の状態を問診や視診・触診、血流の検査結果などから総合的に評価し、リスクに応じてレベル1～4まで分類しています。そのリスクレベルに応じたフットチェックを定期的に行うことで、けがや血流障害が悪化する前に専門医に相談し治療につなげる**早期発見・早期治療**を目指しています。また、「目が見えにくい」や「力が入りにくい」などの理由で、ご自分で爪が切れない患者さんへの爪切り、^{べんち}胼胝処置、自宅でのセルフケアの指導も積極的に行っています。

洛和会音羽記念病院
地域連携課

ご意見・ご質問・ご要望など承ります

受付時間

月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分

連絡先

TEL 075(594)8010(代)

FAX 075(593)8035

E-mail msw_k@rakuwa.or.jp

